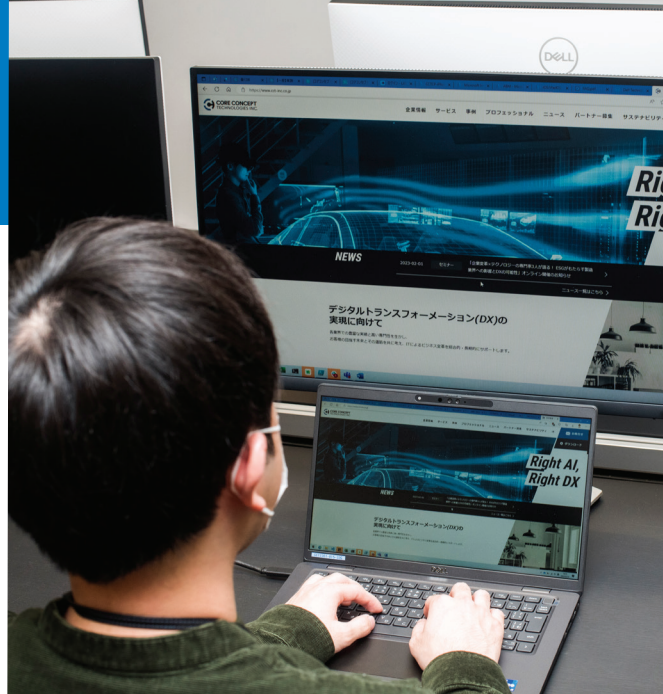


## PC調達を一本化して合理化 ハードウェアの健康状態管理の効率化と キッティング自動化も実現

AI時代の競争力強化に必須である「真なるデジタル化 (DX)」への支援を掲げるコアコンセプト・テクノロジー。同社では、デル・テクノロジーのノートPC「Dell Latitude 7330」シリーズを社内標準PCとして導入すると同時に、PCライフサイクル管理を容易にする「TechDirect」「SupportAssist for Business PCs」の利用を開始し、PC調達の合理化と管理負荷の軽減を図っている。



情報通信サービス

日本

### ビジネス課題

さまざまなメーカーから多彩なスペックのPCを調達してきた結果、管理負荷が増加し、限界が見え始めていた。メーカーを段階的に統一していくと同時に、キッティングの負荷を軽減する仕組みや、ハードウェアの健康状態などを可視化してトラブルにプロアクティブに対応できるソリューションが求められていた。

### ソリューション

- ・Dell Latitude 7330
- ・Dell Latitude 7330 Ultralight
- ・SupportAssist for Business PCs
- ・TechDirect
- ・Dell S2722DC

### 導入効果

- ・ PCメーカーをデル・テクノロジーに統一してPC調達を効率化
- ・ PCのデバイス情報をデル・テクノロジーと事前連携したうえでWindows Autopilotを活用することでキッティングの負担を大幅に削減
- ・ TechDirectとSupportAssist for Business PCsで故障に備えたプロアクティブなPC管理が可能に
- ・ TechDirectの画面からシームレスにサポート依頼ができる高い利便性で、トラブル対応の迅速化に期待

ほぼ0に

Autopilotを活用して  
PCキッティング作業の負荷をほぼ0に



1つに

PC発注先を1つに集約し  
調達業務を標準化・効率化



顧客企業の「真なるデジタル化（DX）」を支援・推進している株式会社コアコンセプト・テクノロジー（以下、コアコンセプト・テクノロジー）では、「DX 支援サービス」「IT 人材調達支援サービス」と大きく分けて2つの事業を展開している。「DX 支援サービス」は高い技術力を背景としたシステム開発はもちろん、コンサルティングからDX組織の構築まで支援し、伴走して進めながら最終的には顧客が自走（内製）できる体制づくりを目指す。一方の「IT 人材調達支援サービス」は圧倒的なネットワークとスピードで最適なチーム構築を手助けするもので、広範なビジネスパートナーネットワーク「Ohgi」の運営や、ワンストップのオンサイト開発支援を行っている。

同社では、PC 調達の合理化と管理負荷の軽減を図るためにデル・テクノロジーズ（以下、デル）のノートPC「Dell Latitude 7330」を社内標準PCとして導入すると同時に、PC ライフサイクルの管理を容易にするセルフサービスポータル「TechDirect」、ハードウェアの健康状態を監視してプロアクティブな障害対応を可能にする「SupportAssist for Business PCs（以下、SupportAssist）」の利用を開始している。

## 大規模な IT 人材データベースを活用し、企業と人材のマッチング業務時間を大幅に短縮

コアコンセプト・テクノロジーが運営する Ohgi は、約 100,000 人（2022 年 12 月時点）の IT 人材情報をデータベースとして活用し、何日もかかっていた最適なスキルを持った人材の検索をわずか 10 分程度に短縮。事業会社や大手 Sler のシステム開発案件情報と、IT エンジニアを抱える中小 IT 企業を効率的に結びつける。

IT 産業は長年にわたり多重請負構造が常態化してさまざまな弊害が生じていたが、Ohgi ではフラットな階層を実現し、発注側の外注先選定業務の迅速化や調達コスト最適化を目指す。一方で受注側となる IT 人材企業は良質な案件にアクセスできるようになり、所属エンジニアは自らのキャリアをデザインしやすい状態となる。この Ohgi の優位性について、同社 社長室 情報システム担当 壽眞澄氏はこう説明する。

「当社自身が発注側と受注側の双方の経験が豊富で、それを体系化して実現したサービスです。システムによって効率的なアプローチを実現しながらも、営業担当者が発注側のお客さま企業からお話をうかがい、より良いご提案ができるよう継続的にフォローする体制を敷いています」

## 多様なメーカーへの発注で PC の管理が煩雑に

コアコンセプト・テクノロジーが Ohgi にて発注企業にエンジニアを紹介する際には、PC をはじめとする必要な機材も併せて提供するケースが多い。発注側にとっては PC を用意する必要がないため、管理者の負担を軽減できるメリットがある一方で、コアコンセプト・テクノロジー側で PC の調達・管理の負担が生じる。

同社では PC を調達すると、キitting作業を行って社内の倉庫にストックしておき、要望に応じて払い出す体制となっている。しかし、その時々で調達しやすいメーカーから購入してきたために、さまざまなメーカー



株式会社コアコンセプト・テクノロジー  
社長室  
情報システム担当  
壽眞澄氏



株式会社コアコンセプト・テクノロジー  
社長室  
情報システム担当  
松本明治氏

の多様なスペックの PC を管理しなければならない状態であった。特に AC アダプターなどの周辺機器は、混在すると管理が煩雑だ。また、発注フローもメーカーによって異なるため業務が標準化できないという課題があった。

こうした課題は、自社の従業員に配布する PC の調達においても見られた。

「ベンチャー企業ということもあり、過去には従業員の個別要望に応えてきた経緯があって、BTO も含むさまざまなメーカーやスペックの PC が混在しています。人数や事業規模が小さいうちはそれで管理できていましたが、もはや限界を迎えていました」（壽氏）

## ハードウェア故障へのプロアクティブな対策を目指す

このほか、同社の業務でネックになっていたのが PC キitting作業だ。手作業のため多くの時間を取られてしまうだけでなく、台数が増えてくると作業漏れやミスが発生することもある。

そこで検討したのが、ユーザーが PC を利用開始するタイミングでバックグラウンドにて自動的に必要な設定が反映される、いわゆるゼロタッチキittingの仕組みだ。これを実現するために必要なのが、Microsoft Intune と Windows Autopilot であるが、PC のライフサイクル管理や故障時対応に資する機能が不十分なため、導入時期を見計らっていた。

「業務に支障が出ないように、PC の故障に対するプロアクティブな対応が重要ですが、Intune は PC の使用期間やサポート期間などの情報を自動で登録できず、ハードウェアの健康状態を把握する機能もありません。PC は会計上の耐用年数に合わせて 3 年間使用する想定でしたが、開発業務は長時間にわたり高負荷の状態が続くこともあり、実際には 2 年程度で壊れてしまうこともありました。コロナ禍ではリモートワークによって持ち運び時の PC への負荷やしばしば望ましくない環境下で使用されるといった懸念もあるため、より故障が心配な状況でした」（壽氏）

壽氏がこのように PC の健康状態を案じるのは、SSD が故障してデータが消失したケースがあるためだ。頻度はかなり少ないものの、ハードディスクに比べて復旧が難しいとされており発生時の被害は大きい。データ

復旧業者に依頼したが、結局は復旧できなかったこともあったという。

## 標準 PC に求めたのは 高性能と持ち運びやすさの両立

こうした現状を変えるきっかけとなったのは、コアコンセプト・テクノロジーが急きょ PC を調達する必要に迫られて、採用実績があったデルの PC を購入したときだ。

「世界的な半導体不足で手に入りにくい時期でしたが、即納モデルが用意されていて助かりました。かなり急ぎの依頼で、いくつかのメーカーに見積もりを依頼しましたが、デルは営業担当者のレスポンスの早さが印象に残っています。そこで PC 管理に関する課題を相談するうちに TechDirect の存在を知りました」（壽氏）

TechDirect は保有するデル製 PC の状態を可視化するセルフサービスポータルで、SupportAssist を組み合わせることで CPU や SSD といったハードウェアの健康状態をモニタリングできる。

これを機に同社では、2022 年の初夏ごろから PC メーカーの統一と管理業務の負荷軽減を図るために検討を開始。求める PC のスペックについて、情報システム担当 松本明治氏は次のように説明する。

「システム開発業務に耐えられるスペックの高さのほか、在宅勤務などに対応する持ち運びやすさを求めました。CPU は Intel Core i7、メモリは 16GB 以上、テンキーレスかつ重くても 1.2 キロ前後のモバイル仕様、画面は 13.3 インチ前後で解像度はフル HD 以上を標準スペックに決めました。また、利便性のために Windows Hello 対応の生体認証機能も重視しました」

PC を刷新すると同時に、Autopilot によるキッティングを自動化することにした。通常であれば PC の納品後に、デバイスのシリアル番号などをユーザー企業側で Intune へ登録する手間が必要だが、デルの場合、工場出荷時にあらかじめ Intune へ情報を登録しておくことが可能だ。

コアコンセプト・テクノロジーでは、先述した標準スペックを満たす PC を提供しつつ Autopilot にも対応しており、なおかつ TechDirect のような管理サービスも提供していることが決め手となり、社内の標準機としてデルを選択することとなった。

## デルのノート PC と Autopilot で キッティング作業を大幅に縮小

コアコンセプト・テクノロジーでは PC メーカー統一に向けた第 1 弾として、Dell Latitude 7330 を合計 340 台購入。2023 年 1 月より毎月、必要な台数の予測に合わせて順次納品されている。

これらに対するキッティング作業は、Intune と Autopilot の導入に踏み切った結果、各 PC に行っていた設定やアプリケーション配布の手間が不要になった。

「これまでキッティング作業は複数台を並行で行ったとしても、待ち時間が多く、合間で他の作業ができませんでした。例えば 10 台キッティングする日は、半日の 4 時間程度は必要です。今ではその分の時間を、社内 IT 周りの改善を考えるなど、より有意義な業務に当てられるように

*「TechDirect ならデルの担当者と迅速かつ簡易にコミュニケーションをとることが可能です。対象の PC 情報を選択するだけで、シリアル番号を転記する必要さえないので、一般的なフローよりもかなり手軽にサポートを依頼できます」*

株式会社コアコンセプト・テクノロジー  
社長室  
情報システム担当  
壽眞澄氏

*「案件に応じて柔軟で迅速に PC を提供しなければなりません。台数が増え続けることを考えれば、素早く調達できるメーカーの存在は重要です。デルは営業担当者のレスポンスがとても早く、今後にも期待しています」*

株式会社コアコンセプト・テクノロジー  
社長室  
情報システム担当  
松本明治氏

なっています」(壽氏)

この Intune と Autopilot を利用する仕組みは、ユーザーにとっても負担が少ない。

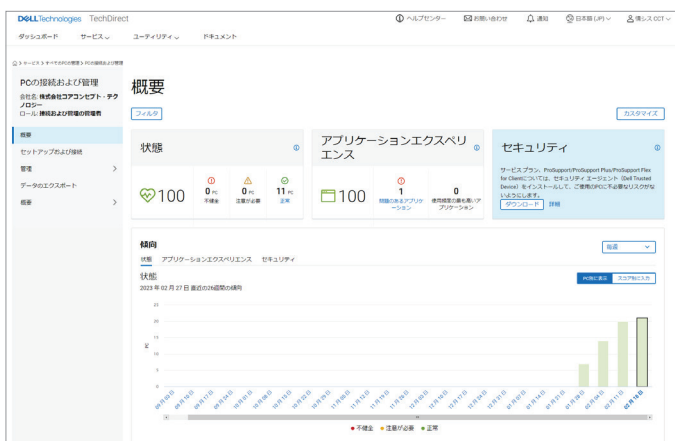
「初回使用時に Microsoft 365 のログイン画面が表示されるので、メールアドレスと初期パスワードを入れ、パスワードを変更すればユーザーの作業は終わりです。その後は必要なソフトウェアのダウンロードや設定が自動で行われ、業務に最低限必要な環境がすぐに構築されます」(松本氏)

## TechDirect で「もしも」に備え 安心の対応フローを構築

さらに、TechDirect の効果について壽氏はこう語る。

「定期的なレポートを通じて、ソフトウェアとハードウェア両方の監視ができるようになりました。ソフトウェアに関しては、強制終了や異常停止しているアプリケーションがないかも確認できます。ハードウェアで最も注視したいのはストレージです。いきなり壊れるケースはまれで、多くの場合は前兆があるため、定期的なモニタリングで異変に気づけば、ユーザーに伝えて交換やバックアップを促して、データ消失を未然に防げるはず」

壽氏が期待するのは、トラブル時の復旧作業にかかる負担軽減だ。かつての経験では、復旧業者と頻繁に連絡をやり取りすることとなり、1週間近くわたって毎日数時間を費やすことになったそう。事前に異常を検知して SSD を交換する手間は、それに比べればわずかだと壽



TechDirect の画面。主にハードウェア周りの PC の異常の有無を遠隔で把握できるようになる

氏は話す。

交換が必要になった際にも、TechDirect を利用すればデルの担当者と迅速かつ簡易にコミュニケーションをとることが可能だ。ポータル画面で当該の PC を選択すれば、すぐにサポートケースを発行してテクニカルサポートをリクエストできる。

今回導入した Dell Latitude 7330 はまだトラブルが生じていないため、同社はサポートを利用したことはないが、「一般的なフローよりもかなり手軽です。PC 本体を見てシリアル番号を転記する必要さえないので、ユーザーに記載場所を説明する手間もなければ、誤った情報をメーカーに伝えてしまうミスも発生しません」と壽氏は期待を示す。

## USB Type-C 対応モニターを採用 ケーブル 1 本で効率的に作業

PC の選定要件に含んでいなかった機能ではあるが、デルのビジネスユースに配慮した機能について松本氏は次のように評価する。

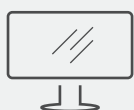
「Dell Latitude 7330 には、Intelligent Privacy (のぞき見検知機能) が搭載されており、カメラが背後からの視線を検知すると通知して画面を暗くしたりぼかしを入れたりできます。また、最近はセキュリティ対策のワイヤーを取り付けられない PC も増えている中で、セキュリティスロットが用意されています。ISMS やプライバシーマークといったセキュリティに関する認証を維持するためにも心強い機能です」

また、コアコンセプト・テクノロジーでは、QHD 解像度の 27 インチモニター「Dell S2722DC」も導入している。USB Type-C 対応のモニターなので、1 本のケーブルで Dell Latitude 7330 とつなげば、大画面で効率的に作業できるだけでなく同時に PC への給電もできる。

「AC アダプターを持ち運ぶ必要がありませんし、机の上もすっきりします。今後、社内の機器は USB Type-C 対応製品で統一しようと考えています」(壽氏)

さらに松本氏は、「案件に応じて柔軟で迅速に PC を提供しなければなりません。台数が増え続けることを考えれば、素早く調達できるメーカーの存在は重要です。デルは営業担当者のレスポンスがとても早く、これからも引き続きサポートを期待しています」と今後の期待を示す。

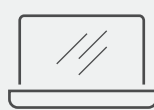
デルの PC や各種サービスを活用しながらコアコンセプト・テクノロジーは、DX 支援や IT 人材調達の旺盛な需要に応えるための体制を IT 周りで強化している。



Dell Latitude 7330の  
詳細はこちらから



専用スタッフへの  
お問い合わせ



お客様導入事例の一覧は  
こちらから



この記事を共有する